

経営情報学部 総合経営学科

<紀尾井町キャンパス>

履修の手引と手続き

<小 目>

II	カリキュラム・ポリシー	2
III	授業科目について	3
IV	授業科目の単位と認定	3
V	卒業に必要な単位について	3
VI	進級条件及び各学年における標準的な修得単位	4
VII	授業科目の学年配当と履修すべき単位数	6
	1. 全学基盤共通科目群	6
	2. キャリア形成科目群	10
	3. 専門基礎科目群	10
	4. 専門科目群	13

履修の手引と手続き

Ⅱ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

経営情報学部 総合経営学科総合経営コースでは、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、国際的な視野に立って「地域の多様性」を尊重し、多様な学問分野を融合させて実社会の課題を解決できるマネジメント力を身に付けた人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

- ・経営情報学の基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
- ・大学で主体的に学修する意欲、社会で求められる倫理観、課題を発見する力や課題を発見・解決する過程を考えることができる社会人基礎力、及びキャリア形成に資する能力を身に付けるため、ビジネスキャリア関連科目で構成するキャリア形成科目群を設置する。
- ・経営学関連科目を中核とする専門分野の基礎知識を身に付けるため、経営、マーケティング、経済、会計、情報科学、スポーツマネジメント、スポーツ健康科学、環境等に係る総論的または基礎的な科目で構成する専門基礎科目群を設置する。
- ・専門基礎科目群で培った知識を土台に、一人ひとりの学修目標や進路に係る知識・技能を深めるため、経済社会のグローバル化に対応する専門性の高い経営、マーケティング、経済、会計、情報科学、スポーツマネジメント、スポーツ健康科学、環境等に係る専門的な科目で構成する専門科目群Ⅰを設置する。
- ・修得した知識・技能・態度を統合し、多様な人々とともに目標に向けて協力する力や主体的・協働的に諸課題に取り組む能力を高めるため、ゼミナール・プロジェクト研究等で構成する専門科目群Ⅱを設置する。
- ・学位授与方針、及び学生一人ひとりの進路に、より対応するため、グローバル経営情報コース（紀尾井町キャンパス）は、2年次より以下の4分野を設置する。
 - ① グローバル・コミュニケーション分野
「国際人」として必要な言語能力、異文化理解を基礎として、様々なビジネス分野で必要なコミュニケーション力を鍛錬するためのカリキュラムを設置する。
 - ② 経営分野
現代の経営を理解するために必要な経営学、経済学、マーケティング、ロジスティクスを学ぶとともに、企業などの組織の経営を担う力を身につけるためのカリキュラムを設置する。
 - ③ 会計分野
ビジネスの共通言語である会計知識を中心に、今日の経済社会の様々な事象を理解するために必要とされるファイナンスや企業関連の諸法律も擁したカリキュラムを設置する。
 - ④ 情報マネジメント分野
Society5.0時代を生きる上で必須となるICT関連技術・知識を基礎から学び、企業などの組織の情報戦略を担う力を身につけるためのカリキュラムを設置する。

Ⅲ 授業科目について

経営情報学部総合経営学科における授業科目は全学基盤共通科目群，キャリア形成科目群，専門基礎科目群，専門科目群から構成されている。

また東金キャンパス，東京紀尾井町キャンパスで開講される科目ならびに履修方法については，オリエンテーション等を通じて指示する。原則として，コース（キャンパス）の変更はできない。

Ⅳ 授業科目の単位と認定

本学部では単位制を採用している。単位制とは，ひとつひとつの授業科目に一定の基準により定められた単位があり，履修した授業科目に対して，試験もしくはその他の方法により学習評価をしたうえで，その単位を認定する制度である。

単位の認定は，S・A・B・Cの4段階評価により行い，Fの評価は単位を認定しないものとする。なお，N・Hは単位振替により単位を認定したことを示す。成績の評価については履修・試験・成績評価の項を参照すること。

Ⅴ 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位は，次の表に示すとおりである。

系 列	学部・学科	経営情報学部 総合経営学科
		最低修得単位数
全学部共通基盤科目群		21
キャリア形成科目群		5 (外国人留学生・帰国生は3)
専門基礎科目群		20
専門科目群 I		32
専門科目群 II (ゼミ研究・実践)		8
上記の科目群の最低修得単位数以外に選択必修。30 単位までを上限に他学部の科目を卒業単位に含めることができる。		38 (外国人留学生・帰国生は40)
合計		124

*他学部の科目のうち，日本語プロジェクト学習 a， b は卒業単位に含まれない。

VI 進級条件及び各学年における標準的な修得単位

1. 進級条件

各年次で進級に必要な最低単位数は、次のとおりである。

(1) 1年次から2年次：

① 1年次の必修科目である経営情報基礎論 A・B, デジタルアプリ A, 情報セキュリティ A, 経営学総論, アカデミック・スキルズ、アカデミック・プラクティス、および全学基盤共通科目群の選択必修科目である Fundamentals of English I, Oral Fluency I, English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・B (外国人留学生・帰国生は、日本語中上級科目, 日本語上級科目) のうち4単位

② 総修得単位数が16単位

(2) 2年次から3年次：

① 1, 2年次の必修科目である経営情報基礎論 A・B, デジタルアプリ A, 情報セキュリティ A, 経営学総論, アカデミック・スキルズ、アカデミック・プラクティス、プレゼミナール A・B, および全学基盤共通科目群の選択必修科目である Fundamentals of English I, Oral Fluency I, English for Advanced Studies A・B・C, English for Specific Purposes A・B・C (外国人留学生・帰国生は、日本語中上級科目, 日本語上級科目) のうち14単位

② 総修得単位数が50単位

※但し、①の条件を満たし総修得単位数が40単位～49単位の者については、進級判定の対象となり、教授会で審議の結果、許可された学生のみ進級することができる。

(3) 3年次から4年次：82単位

2. 各学年における標準的な修得単位

各学年における授業科目および修得単位数の目安は、次の表に示すとおりである。

各クォーター (S1, S2, F1, F2) の履修登録は16単位以下、各集中授業 (SS, WS) の履修登録は6単位以下とする。ただし、卒業単位に含まれない授業科目の単位は、上記の単位数に含めない。また、年間の履修登録については42単位以下とする。GPAが2.00以上の者には、アドバイザーに相談したうえで最大年間49単位まで履修することを認めることがある。各学期のGPAが0.75未満の場合には、アドバイザーの履修指導を受けなければならない。

学年	科目群別必修科目等	単位数の目安
1 年次 修得単位数 35～40 単位	○全学部共通基盤科目群 ・必修科目 経営情報基礎論 A, デジタルアプリ A, 情報セキュリティ A, アカデミック・スキルズ ・選択必修科目 ＜日本人学生＞ Fundamentals of English I, Oral Fluency I, English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・B のうち 2 科目 4 単位 ＜外国人留学生・帰国生＞ 日本語科目のうち 3 科目 6 単位	21～29 単位
	○キャリア形成科目群 ・必修科目 アカデミック・プラクティス	1 単位
	○専門基礎科目群 ・必修科目 経営情報基礎論 B, 経営学総論	10～20 単位
2 年次 修得単位数 35～40 単位	○全学部共通基盤科目群 ・選択必修科目 ＜外国人留学生・帰国生＞ 日本語科目のうち 1 科目 2 単位	4～12 単位
	○キャリア形成科目群 ・必修科目 プレゼミナール A、プレゼミナール B	2～4 単位
	○専門基礎科目群	8～11 単位
	○専門科目群 I	16～20 単位
3 年次 修得単位数 35～40 単位	○キャリア形成科目群	2～4 単位
	○専門基礎科目群	2～4 単位
	○専門科目群 I	22～30 単位
	○専門科目群 II (ゼミ研究・実践) ・必修科目 ゼミナール A, ゼミナール B	4～6 単位
4 年次 修得単位数 4～10 単位	○専門科目群 I	4～6 単位
	○専門科目群 II (ゼミ研究・実践) ・必修科目 ゼミナール C ・選択必修科目 ゼミナール D・E のうち 1 科目 2 単位	4 単位
卒業 修得単位数 124 単位		

Ⅶ 授業科目の学年配当と履修すべき単位数

1. 全学部共通基盤科目群

全学部、全学年の学生を対象として設置される科目である。各学部の専門の学びの基盤となる文理の壁を越えた幅広い教養を身に付けることを目的とする。

科目群	科目名	配当年次	単位数			最低修得単数	備考
			必修	選択	自由		
全学部共通基盤科目群	アカデミック・スキルズ	1	1			21 単位	○ 日本人学生 全学部共通基盤科目群のうち、Fundamentals of English I, Oral Fluency I, English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・B から4単位以上を修得すること。なお、English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・B の4科目は、優れた英語力を有すると認められた者のみが履修できる科目である。
	SDGs×大学生	1		2			
	Fundamentals of English I	1		2			
	Fundamentals of English II	1		2			
	Oral Fluency I	1		2			
	Oral Fluency II	1		2			
	TOEIC Preparation A	1		2			
	TOEIC Preparation B	1		2			
	TOEIC Preparation C	1		2			
	TOEIC Preparation D	1		2			
	English for Specific Purposes A	1		2			
	English for Specific Purposes B	1		2			
	English for Advanced Studies A	1		2			
	English for Advanced Studies B	1		2			
	中国語 I	1		2			
	中国語 II	1		2			
	韓国語 I	1		2			
	韓国語 II	1		2			
	スペイン語 I	1		2			
	スペイン語 II	1		2			
ドイツ語 I	1		2				
ドイツ語 II	1		2				
フランス語 I	1		2				
フランス語 II	1		2				
ハンガリー語 I	1		2				
ハンガリー語 II	1		2				
						○ 外国人留学生・帰国生 全学部共通基盤科目群のうち、日本語 I・II, 統合日本語 I・II, 日本語アカデミック・ライティング, 日本語アカデミック・スピーキング, 社会と文化の日本語 A・B から8単位以上を修得すること。	

科目群	科目名	配当年次	単位数			最低修得単位数	備考
			必修	選択	自由		
全学部共通基盤科目群	ポーランド語Ⅰ	1		2		21 単位	<p>○ 日本人学生 全学部共通基盤科目群のうち、Fundamentals of English I, Oral Fluency I, English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・Bから4単位以上を修得すること。なお、English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・Bの4科目は、優れた英語力を有すると認められた者のみが履修できる科目である。</p> <p>○ 外国人留学生・帰国生 全学部共通基盤科目群のうち、日本語Ⅰ・Ⅱ、統合日本語Ⅰ・Ⅱ、日本語アカデミック・ライティング、日本語アカデミック・スピーキング、社会と文化の日本語A・Bから8単位以上を修得すること。</p>
	ポーランド語Ⅱ	1		2			
	チェコ語Ⅰ	1		2			
	チェコ語Ⅱ	1		2			
	日本語Ⅰ	1		2			
	日本語Ⅱ	1		2			
	統合日本語Ⅰ	1		2			
	統合日本語Ⅱ	1		2			
	日本語アカデミック・ライティング	1		2			
	日本語アカデミック・スピーキング	1		2			
	社会と文化の日本語A	1		2			
	社会と文化の日本語B	1		2			
	データ分析の基礎（解析）	1		2			
	データ分析の基礎（線形代数）	1		2			
	自然科学概論（物質・宇宙・エネルギー）	1		2			
	生命現象の理解とその応用－生命科学	1		2			
	環境科学	1		2			
	食環境論	1		2			
	香りと環境	1		2			
	情報セキュリティA	1	2				
	情報社会と情報倫理	1		2			
	人工知能論	1		2			
	データサイエンスⅠ	1		2			
	データサイエンスⅡ	1		2			
	統計学	2		2			
	身体の理解	1		2			
	デジタルアプリA	1	2				
	デジタルアプリB	1	2				
生物からみた環境の仕組み・生態学	1		2				
インターネット配信	1		2				
エリアスタディーズA	1		2				
エリアスタディーズB	1		2				
観光の現在と未来	1		2				
ヘルスツーリズム	1		2				
社会心理学	1		2				

科目群	科目名	配当年次	単位数			最低修得単位数	備考
			必修	選択	自由		
全学部共通基盤科目群	生活と文化	2		2		21 単位	<p>○ 日本人学生 全学部共通基盤科目群のうち、Fundamentals of English I, Oral Fluency I, English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・Bから4単位以上を修得すること。なお、English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・Bの4科目は、優れた英語力を有すると認められた者のみが履修できる科目である。</p> <p>○ 外国人留学生・帰国生 全学部共通基盤科目群のうち、日本語Ⅰ・Ⅱ, 統合日本語Ⅰ・Ⅱ, 日本語アカデミック・ライティング, 日本語アカデミック・スピーキング, 社会と文化の日本語A・Bから8単位以上を修得すること。</p>
	生涯スポーツ概論	1		2			
	スポーツ社会学	1		2			
	ボランティア論	1		2			
	国際日本学	1		2			
	コミュニケーションの基礎	1		2			
	域学共創プロジェクトA	1		2			
	域学共創プロジェクトB	1		2			
	域学共創プロジェクトC	1		2			
	域学共創プロジェクトD	1		2			
	域学共創プロジェクトE	1		2			
	域学共創プロジェクトF	1		2			
	域学共創プロジェクトG	1		2			
	域学共創プロジェクトH	1		2			
	域学共創プロジェクトI	1		2			
	域学共創プロジェクトJ	1		2			
	史学概論	1		2			
	西洋史概論	1		2			
	アジア史概論	1		2			
	現代史入門	1		2			
	人類とモノづくり	1		2			
	房総の文化と歴史	1		2			
	科学史	1		2			
	映像メディア史	1		2			
	音楽史	1		2			
	国際関係論	2		2			
	社会と経営	1		2			
	社会と会計	1		2			
	マーケティング論	1		2			
	広告戦略論	1		2			
社会学	1		2				
社会調査	2		2				
日本国憲法	1		2				
著作権	1		2				
社会福祉学A	1		2				
社会福祉学B	2		2				

科目群	科目名	配当年次	単位数			最低修得単位数	備考
			必修	選択	自由		
全学部共通基盤科目群	経営情報基礎論 A	1	2			21 単位	<p>○ 日本人学生 全学部共通基盤科目群のうち、Fundamentals of English I, Oral Fluency I, English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・B から4単位以上を修得すること。なお、English for Advanced Studies A・B, English for Specific Purposes A・B の4科目は、優れた英語力を有すると認められた者のみが履修できる科目である。</p> <p>○ 外国人留学生・帰国生 全学部共通基盤科目群のうち、日本語 I・II, 統合日本語 I・II, 日本語アカデミック・ライティング, 日本語アカデミック・スピーキング, 社会と文化の日本語 A・B から8単位以上を修得すること。</p>
	世界遺産のいま	1		2			
	西洋美術	1		2			
	美学・芸術学	1		2			
	表象文化研究	1		2			
	日本の現代文化	1		2			
	日本の伝統文化	1		2			
	日本文学概論	1		2			
	日本の文学（古典）	2		2			
	日本の文学（近・現代）	2		2			
	日本語表現	1		2			
	文学のはじまり ー古代ギリシャ・ローマの文学	1		2			
	世界の文学	1		2			
	演劇研究	1		2			
	古典芸能研究	1		2			
	教育学	1		2			
	心理学	1		2			
	基礎の数学	1		2			
	ジェンダー論	1		2			
	根拠への問いー哲学のとびら	1		2			
	宗教学概論	1		2			
	倫理学概論	1		2			
	文化人類学	1		2			
異文化適応論	1		2				
比較文化概論	1		2				
言語学概論	1		2				
スポーツ科学(ダンス)IA	1		1				
スポーツ科学(ダンス)IB	1		1				
しゃべりのスキル Up I	1		2				

2. キャリア形成科目群

科目群	科目名	配当年次	単位数			最低修得単位数	備考
			必修	選択	自由		
キャリア形成科目群	アカデミック・プラクティス	1	1			日本人学生 5単位 留学生・帰国生 3単位	○日本人学生 キャリア形成科目群のうち、必修科目を含み5単位以上を修得すること。 ○外国人留学生・帰国生 キャリア形成科目群のうち、必修科目を含み3単位以上を修得すること。
	プレゼминаールA	2	1				
	プレゼминаールB	2	1				
	キャリアプランニングA	3		1			
	キャリアプランニングB	3		1			
	海外ビジネス研修Ⅰ	1		2			
	海外ビジネス研修Ⅱ	1		2			
	海外ビジネス研修Ⅲ	1		2			
	海外ビジネス研修Ⅳ	1		2			

3. 専門基礎科目群, 専門科目群Ⅰ, 専門科目群Ⅱ (ゼミ研究・実践)

ディプロマ・ポリシーに則り、「学士(経営情報)」の学位を授与されるうえで必要な専門領域に関連する科目を、専門基礎科目群, 専門科目群Ⅰ, 専門科目群Ⅱ(ゼミ研究・実践)にて開講する。各学生は最終的には自身が選択したゼミナールや分野に属する科目を履修して自身の専門性の確立を図ることとなるが、一方で各分野が設けた推奨科目も卒業までに可能な限り履修し、「学士(経営情報)」を得るにふさわしい幅広い経営に関連する知識を身に付ける必要もある。専門性の深さと広さの両立を企図した学修計画を立てることが求められる。

東京紀尾井町キャンパス<グローバル経営情報コース>

経営学や会計学、流通・マーケティング、消費者行動分析はもちろん、企業情報システムや情報ネットワーク、メディア情報、英語や諸外国の語学や国際ビジネスなどの科目が配置されている。日本の政治経済の中心地である東京都千代田区で経営、会計、情報マネジメント、グローバル・コミュニケーションの4つの分野を広く学ぶ。これからの国際社会に不可欠な教養・知識を身に付けるとともに、百年ともいわれる人生を爽やかに過ごすために必要な社会人基礎力を鍛錬する。

(1) 経営分野

現代の経営を理解し、企業などの組織の経営を担うことのできる人材を育成する。経営学、経済学、マーケティング、ロジスティクスなどについて実践的かつ専門的な知識を学び、グローバルな発想の下、具体的な諸問題を解決することができるビジネスパーソン、ビジネスリーダーの育成を図る。

(2) 会計分野

会計はビジネスの共通言語と言われ、ファイナンスは経済社会の動きを理解する上で必要不可欠な知識である。これらの修得は現代の社会から強く要請されている「経済社会の行動原理に対する理解と議論する力」の獲得に大きく資するものと考えられる。

本分野では、まず企業の企画・財務・経理の知識と国際的感覚を有する会計ゼネラリストの育成を目指し、さらに公認会計士や税理士などの会計スペシャリストの育成をも視野に入れ、会計・財務・ファイナンスの基礎から応用まで、幅広い知識を修得することを目標とする。

(3) 情報マネジメント分野

SNSなどの情報通信技術(ICT)を活用して、企業の情報戦略を担うことができる能力を養う。企業経営の根幹をなす情報セキュリティについて学び、専門家として活躍することを目指すこともできる。また、ビッグデータの活用やAIを援用した様々なサービスについて、その原理と実践について深く学ぶことも可能である。

(4) グローバル・コミュニケーション分野

この分野では、グローバル的な視野を備え、国際社会で柔軟に対応するために、異文化コミュニケーションの基礎知識を修得する。異なる文化背景を持つ人間と協働するための言語や非言語 コミュニケーション能力を身に付ける科目だけではなく、情報化社会に急増したロボット・AI を介したコミュニケーション能力や激変時代に対応できる非対面コミュニケーション力を養う関連科目も配置する。さらに多文化環境でのリーダーシップ、動機付け、意思決定、チームワークなどの知識を学修していく。

※コース推奨科目

それぞれのキャンパスにおいて各コースに分かれて学習する上で、1・2・3年次に修得しておくことが望ましい科目をコース推奨科目としている。学部必修科目と併せて履修計画を立ててもらいたい。科目の詳細については、オリエンテーション、「ビジネスキャリア I」の授業で説明する。以下にコース推奨科目の内、1・2年生科目の一部を紹介する。

<東京紀尾井町キャンパス>

(1) 経営分野	(2) 会計分野	(3) 情報マネジメント分野	(4) グローバル・コミュニケーション分野
経営学総論 マーケティング論 消費生活と行政	初級簿記 中級簿記 会計学 I	情報ネットワーク論 情報システム論 情報セキュリティ b	グローバル・コミュニケーション総論

科目群	科目名	配当年次	単位数			最低修得単位数	備考
			必修	選択	自由		
専門基礎科目群	経営学総論	1	2			20 単位	専門基礎科目群のうち、20以上を修得すること。
	企業と社会	1		2			
	ミクロ経済学の基礎	1		2			
	マクロ経済学の基礎	1		2			
	消費生活と行政	1		2			
	流通論	2		2			
	デジタルマーケティング	2		2			
	マーケティングリサーチ	1		2			
	ロジスティクス概論	1		2			
	初級簿記	1		2			
	中級簿記	1		2			
	会計学Ⅰ	1		2			
	会計学Ⅱ	1		2			
	ファイナンスの基礎Ⅰ	1		2			
	ファイナンスの基礎Ⅱ	1		2			
	経営情報基礎論B	1	2				
	情報システム論	2		2			
	情報化戦略とマネジメントA	1		2			
	情報学演習A	1		2			
	情報学演習B	1		2			
	情報理論	1		2			
情報ネットワーク論	2		2				
グローバル・コミュニケーション総論	1		2				

4. 専門科目群

(1) 専門科目群 I

科目群	科目名	配当年次	単位数			最低修得単位数	備考
			必修	選択	自由		
専門科目群 I	ゲーム理論	2		2		32 単位	専門科目群 I のうち、32 単位以上を修得すること。
	行動経済学	3		2			
	経営戦略論	2		2			
	人的資源管理論	3		2			
	経営組織論	2		2			
	組織行動論	3		2			
	消費者行動論	3		2			
	国際マーケティング論	2		2			
	マーケティングサイエンス	3					
	ブランド戦略論	2		2			
	国際ロジスティクス論	2		2			
	会社法 A	2		2			
	会社法 B	2		2			
	税法 A	3		2			
	税法 B	3		2			
	財務諸表論 A	2		2			
	財務諸表論 B	2		2			
	財務会計特論	3		2			
	原価計算論 I	2		2			
	原価計算論 II	2		2			
	管理会計特論	3		2			
	財務分析 A	2		2			
	財務分析 B	2		2			
	ファイナンシャルプランニング論 A	2		2			
	ファイナンシャルプランニング論 B	2		2			
	コーポレートファイナンス	3		2			
	インベストメントファイナンス	3		2			
	ファイナンス特論	3		2			
ソフトウェア会計	3		2				
ビジネスデータ分析 A	2		2				
ビジネスデータ分析 B	3		2				
情報セキュリティ B	2		2				

科目群	科目名	配当年次	単位数			最低修得単位数	備考
			必修	選択	自由		
専門科目群Ⅰ	情報化戦略とマネジメント B	2		2		32 単位	専門科目群Ⅰのうち、32 単位以上を修得すること。
	情報学演習 C	3		2			
	アルゴリズム A	2		2			
	アルゴリズム B	2		2			
	モデル化とシミュレーション	3		2			
	プログラミング A	2		2			
	プログラミング B	2		2			
	プログラミング C	3		2			
	データベース	2		2			
	データマイニング	3		2			
	ビッグデータ	3		2			
	ICT プロジェクトマネジメント	3		2			
	異文化コミュニケーション論	2		2			
	異文化組織マネジメント	2		2			
	Introductiton to Global Management	3		2			

(2) 専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践）

科目群	科目名	配当年次	単位数			最低修得	備考
			必修	選択	自由		
専門科目群Ⅱ (ゼミ研究・実践)	ゼミナール A	3	2			8 単位	専門科目群Ⅱのうち、必修科目6単位を含み8単位以上を修得すること。ゼミナール D あるいはゼミナール E のいずれか1科目2単位を必ず修得すること。ゼミナール A から E は、同じ学期に2つ以上の科目を同時に履修することはできない。*の科目は指定された学生のみ履修できる。
	ゼミナール B	3	2				
	ゼミナール C	3	2				
	ゼミナール D	3		2			
	ゼミナール E*	3		2			
	プロジェクト研究 A	1		2			
	プロジェクト研究 B	1		2			